

## 開催概要

日時：平成31年1月15日(火)14:00～16:00

場所：大宮区役所 南館3階 301会議室

## 報告事項

- (1)コミュニティバス等の概要について
- (2)各地域組織等における利用促進の取組について
- (3)その他

## 出席者

- ・ 学識経験者 1名
- ・ 地域組織 10団体(29名)
- ・ 運行事業者 6社(10名)

経歴		出席者数	備考(関連路線)
さいたま市地域公共交通協議会 バス専門部会長		1名	—
地域組織	和土住宅自治会乗合タクシー推進会	3名	和土地区乗合タクシー
	指扇地区コミュニティタクシー推進協議会	3名	指扇地区乗合タクシー
	二ツ宮住宅コミュニティバス推進協議会	2名	西区コミュニティバス
	大砂土東地区自治会連合会	3名	大砂土東地区乗合タクシー
	見沼区住みよい街づくり連絡会	1名	片柳西地区乗合タクシー
	並木・加倉地区乗合タクシー推進委員会	3名	並木・加倉地区乗合タクシー
	大久保西与野地区公共交通導入協議会	4名	新規乗合タクシー
	吉野町1丁目自治会、神山自治会、中道自治会、宮原2丁目自治会	6名	新規乗合タクシー
	片柳自治会	1名	見沼区コミュニティバス
	南平野やまぶき団地	3名	岩槻区コミュニティバス
運行事業者	国際興業株式会社 運輸事業部 運輸企画課	2名	見沼区、桜区、南区コミュニティバス
	西武バス株式会社 運輸計画部 計画課	2名	西区コミュニティバス
	東武バスウエスト株式会社 運輸統括部 業務課	2名	北区、岩槻区コミュニティバス
	第三交通株式会社	1名	和土地区乗合タクシー
	指扇交通株式会社	1名	指扇地区乗合タクシー
	株式会社さいたま福祉サービス	2名	並木・加倉地区乗合タクシー

# 平成30年度コミュニティバス・乗合タクシー 地域組織・運行事業者情報交換会の開催結果について

## 各地区の取組

### ■ 和土地区住宅自治会乗合タクシー推進會

- ✓ 1日利用者47人という目標を掲げて、工場見学等のイベントを推進会のメンバー持ち回りで企画
- ✓ 毎週の利用者数を「レインボーだより」で報告
- ✓ アンケートでのニーズ把握しルート検討

### ■ 指扇地区コミュニティタクシー推進協議會

- ✓ シルバーカードを提示すると200円で乗車できるように100円分補助（補助金は最初病院から出ていたが、現在は地区社協から助成）
- ✓ 清河寺温泉で使えるポイント券を配布（これまで累計で1,236名が温泉を利用(配布数に対する利用率:46.6%)）
- ✓ 運行開始時のイベントでは、実証運行時に30名、本格運行時に50名ほど集まった。

### ■ ニツ宮住宅コミュニティバス推進協議會

- ✓ 平成27年に実証運転を開始し、スタンプキャンペーンを4回実施
- ✓ スタンプキャンペーンは、一人片道乗車で1ポイントとし、5ポイントごとにティッシュ箱を1つプレゼント
- ✓ 運行開始時に、1)様々な方に来てもらいテープカット、2)公共交通の講演を実施  
⇒約100名が集まった

## 平成30年度コミュニティバス・乗合タクシー 地域組織・運行事業者情報交換会の開催結果について

### ■大砂土東地区自治会連合会

- ✓ 病院の移転がきっかけ、イベントや広報活動は未実施
- ✓ 病院利用者が多くを占める

### ■並木・加倉地区乗合タクシー推進委員会

- ✓ 高齢者だけをターゲットにした開業は厳しいことが分かっていたので、通勤などが盛んな朝晩は30分間隔で駅と最短で結ぶ路線を作り若者にも乗ってもらう取り組みを実施
- ✓ 昼は病院やスーパーを経由する便を1時間に1本を運行
- ✓ 財布に入るカード型の時刻表で、雨の日の通勤等、気軽に使ってもらうきっかけづくりを検討

### 意見・要望等

- ✓ 高齢者の料金補助を行政側で行ってほしい。
- ✓ 土日運行もさせてほしい。
- ✓ 市が設定している収支率40%の基準を少し下げてほしい。
- ✓ 収支率40%を超える収入を地域組織や交通事業者にフィードバックする仕組みが考えられないか。
- ✓ コミュニティバスの車両更新の際に、低床化してほしい。
- ✓ 運行開始イベントについては、利用促進という点ではよいが、費用がかかるという課題がある。
- ✓ ここ数年でドライバーの確保が課題になる。